

## 常軌を逸した事情聴取 職場で同じ仕事をする仲間として抗議する

全ての 東二輸のみなさん 声を出そう！  
一体 この職場はどうなっているのだ！ と

日勤で事情聴取を受けていた乗務員が、救急車で病院に行くという異常な事態を、またしても引き起こしてしまいました。過去にも同じように事情聴取をされていた乗務員が救急車で病院へ運ばれるということがありました。同じことが繰り返されている私たちの職場は、一体どうなっているのでしょうか。所員一人ひとりが本当に、真剣になって考えなければならない事態です。

なぜ、日勤で事情聴取が行われていたのかは定かではありませんが、その事情聴取は、居合わせた誰もが驚き立ち止まるほどの勢いで行われていたそうです。それは、とうてい事情を聞くなどと言えるものではなく恫喝、脅しでしかありません。黙っているのは、安全にも支障が出かねません。黙っているのはダメです。

このような職場の異常な事態に対して  
東海労新幹線地本は、業務委員会で強く抗議しました

あのように大きな声で恫喝されたら誰でも具合が悪くなる、との抗議に対して驚くことに、幹鉄事は、個別案件なので回答しない。しかし、救急車で運ばれたことは承知しているが、どういう原因なのかは分からない、と回答しました。

幹鉄事は、職場で何が起きているかを承知しているにもかかわらず平然としているのです。「個別案件」なら何があっても関知しないということであり、見て見ぬ振りをするだけでなく職場の異常を認め、真相を故意に覆い隠そうということに等しい事態と言わざるを得ません。JR西日本の、はるか上をいっています。

**私たち東海労は、皆で声を出すことを呼びかけます**